出展ゾーン
維持管理

東亜グラウト工業が上下水道管路の維持管理を支える
調査・洗浄・更生・耐震化まで

当社は長らく下水道管路の維持管理事業を手掛け、豊富な工法バリエーションで下水道管路の調査・洗浄・更生・耐震化などを行っています。さらに近年では水道管路の調査技術も取り扱っています。下水道展 '25大阪では「水循環の未来をAIと先端技術で支える」をテーマに上下水道管路の維持管理技術を紹介します。

人工衛星による漏水検知技術『アステラ』　上下水道

人工衛星による観測データを解析して広域での漏水調査対象箇所の抽出を行い、複数年かかっていた全域調査を単年で実施可能にする技術です。漏水可能性の高い配管部に漏水調査対象を絞り込めるため、現地調査を効率化。漏水リスク予測とは異なり、実際に起こっている漏水を衛星センシングしたデータを提供します。①経済的な全域調査、②調査周期を短縮、③二次災害の防止、④現地調査のデジタル化、⑤管路更新計画の最適化のメリットがあります。

この技術は上水道管路での活用が先行していますが、下水道管路では衛星画像の解析により間接的に雨水等の浸入水発生の可能性箇所を絞り込む国内実証実験を実施予定です。

〈アステラの下水道管路への応用について
「出展者プレゼンテーション」にて紹介〉

○日時：7/30（水）14：10-14：35
○場所：インテックス大阪 2号館　左側プレゼン会場
○タイトル：衛星画像とセンサボールによる
浸入出水調査対象の効率的な抽出

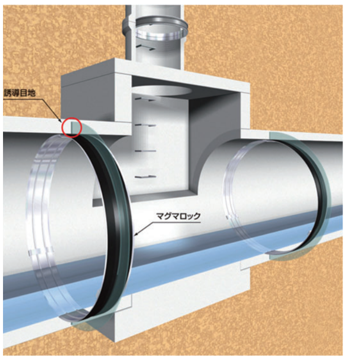
氷で圧送管路を洗浄『アイスピグ管内洗浄工法』　上下水道

圧送管内に特殊アイスシャーベットを挿入し管壁のマンガンや赤さび等の汚れをこすり取り、堆積物を包み込んで管外へ排出します。管径の変化や曲がり、伏せ越し部でも洗浄可能です。従来の洗浄法に比べて詰まり・破損のリスクが小さい、長距離洗浄が可能、作業が短時間ですむ、材料が水と食塩のみで無害なため安全・安心といった特徴があります。

光でスピーディに非開削更生『アルファライナーH工法』　下水道

光を照射することで硬化する光硬化性樹脂を使用し、非開削で既設管内に更生管を作る更生工法です。材料の選定は1mm単位で行い、無駄のない更生材の選択が可能。更生材に強固なガラス繊維を採用することで、高強度な新しい管を既設管内に構築することができます。

管きょの耐震化『マグマロック工法』　下水道



耐震性のない既設管きょを非開削で短時間に耐震化する技術です。既設管きょのマンホール接続部に誘導目地を切削し、ステンレスとゴム製スリーブの耐震リングを設置することで、レベル2地震動に耐えられる構造へ改造します。

小間番号
■ 2号館 ■
2-106

［出展者］東亜グラウト工業㈱
［所在地］〒160-0004　東京都新宿区四谷2-10-3　TMSビル
［連絡先］TEL：03-3355-1531
担当部署：管路グループ

技術・プレゼンの詳細はこちらから→